

# ふれあい

## FUREAI

特集

### 救命救急センター

地域の重症患者を受け入れる「最後の砦」



vol.202

2022 July



# 救命救急センター



地域の重症患者を受け入れる  
「最後の砦」

沖縄内には当院を含めて3カ所の救命救急センターが整備されています。救命救急センターとは心停止や重症外傷、急性中毒、急性呼吸不全、急性循環不全といった生命に関わる重篤な病態の患者さんに対して、初期診療や手術などの決定的治療、集中治療を行う高度な機能を有する医療施設を指します。当院は、ドクターカーやドクターヘリの運航も担っており、近隣のみならず沖縄本島や周辺離島の重症患者の受入を行っています。さらに新病院では、ヘリの離発着も可能となり、県内全域から重症患者の迅速な受入が可能となります。



救命救急センター長  
救急集中治療部部長(兼任)  
米盛輝武

## 救命救急センターの役割

病院前診療



救急初療



決定的治療



集中治療



これらすべてをシームレスに繋げる「高度な救急医療体制」を構築  
「地域」と「沖縄」を守る救命救急センター

病院前診療

救急初療

決定的治療

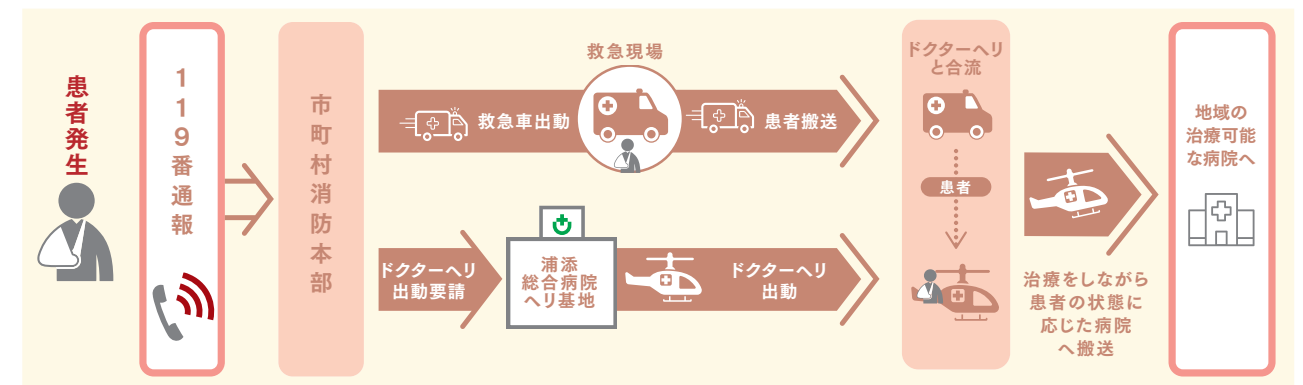
集中治療

病院前診療(プレホスピタルケア)とは、傷病者が「病院に到着するまで」に行われる医療・医学のことです。医師や看護師は医療機関で待つのではなく、ドクターヘリやドクターカーで現場に向かいます。少しでも早く患者さんの治療を開始することで、救命率の向上や予後の改善に努めます。

Doctor heli  
ドクターヘリ



ドクターヘリの役割は大きく分けて①現場で医療を開始する「早期医療介入」②現場の医師からの「医療情報共有」③離島や僻地から迅速に医療機関へ搬送する「迅速な医療搬送ツール」の3つがあり、現場での治療開始から病院での初期対応、手術などの決定的治療、集中治療を迅速かつシームレスにつなぎ、大切な生命を救います。



一刻も早く高度な医療介入が必要と判断された場合、消防本部より要請を受け、医師および看護師、救急救命士が現場へ急行します。病院へ搬送されるよりも前から医師による診察を開始し、予後の改善を目的としています。当院では2台のドクターカーを運用しており、そのうち1台は「動く診療室」として、生体情報モニタ・除細動器・人工呼吸器・超音波診断装置などの生命維持医療機器を搭載しております。それにより重症例をより安全に搬送できるようになりました。

Doctor Car  
ドクターカー



▶▶▶ With COVID-19 ドクターカーを通してコロナ患者に寄り添う



当院は沖縄県と新型コロナウイルス感染症患者様の移送・搬送について業務委託を締結しております。沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部と連携しながら、これまでに重症から中等症まで100件以上の搬送実績があり、当院への搬送のみならず他の医療機関間の搬送についても協力させて頂いています。

出動する先がコロナ陽性患者様のご自宅ということもあります。病院内の治療とは異なり、活動する環境がご自宅ですので階段や狭い場所、患者様の移動等で院内業務より身体を動かす範囲なども大きくなり、より感染対策に力を入れ活動を行っています。場合によっては全身を包むタイベックという感染防護具を着用することもあります。



## ●24時間365日の受入れ体制

当院救急外来は24時間365日、三次救命救急センターとしての重症患者の救急搬送を受け入れています。沖縄県内3施設ある救命救急センターの内の1つであり、浦添市を中心に宜野湾市や那覇市の重症患者治療の最後の砦として重要拠点となっています。また、疾患の重症度に関わらず、診療を希望する患者さんに対応すべく、24時間365日体制で救急診療を行っています。救急外来ではトリアージと呼ばれる、患者さんの緊急度、重症度の振り分けを行い、緊急性の高い患者さんの診療が遅れることのないように、医師、看護師、救急救命士によって地域の救急診療を支えています。

## ●ドクターカー導入により現場での治療介入を実現

平成24年よりラピッドレスポンス式のドクターカーを運行しており、365日毎日運行し、病院に到着する前から消防の救急隊員と協力して、より早期の治療開始を行える体制を整えています。医師を現場投入することで、緊急度が高い重症患者の早期治療介入を実現させています。心筋梗塞や脳卒中、交通外傷など早期の治療が予後に関わる疾患に適切に対応します。沖縄県、そして地域医療を守る重要な役割を担っており、今後も行政や消防と連携し地域に密着した活動を目指していきます。

### TOPICS!!

#### 救急隊と顔の見える関係を目指して

当院では新たにドクターカーへ同乗し病院前診療を学ぶ医師や看護師、救急救命士に対して研修を開催しております。また、この研修は院内全体の医療の質向上と地域消防機関との顔の見える関係の構築も大きな目標としております。当院の周辺市町村の消防機関はもちろん、北部地区の消防機関の皆さんにもご参加いただいております。



### Doctor's Voice

救急外来においても、標準的治療を行うことは当然ながら、患者さんそれぞれの人生観、価値観、思いに沿った治療が提供できるように心がけております。

集中治療・重症管理部長 那須道高

救急隊からの多様化する情報を専門診療科と早期に共有し、現場出動したヘリやカーの医師からの情報に基づき早期の方針検討を行います。救急初療で必要な検査などを迅速に行い、その後手術・カテーテル治療・内視鏡などを行います。また、日頃から専門診療科との合同カンファレンスを開くことで円滑な連携体制を心がけています。



## ●集中治療の指揮者として

救急集中治療部には、重症患者管理を行う集中治療医が多数在籍しています。集中治療医は、全身を管理するジェネラリストかつ、高い専門知識を要するスペシャリストであり、オーケストラという指揮者に例えられることがあります。指揮者はどの楽器にも精通し、専門的な感性と知識を備え楽曲全体の構成をまとめる専門家です。集中治療医も同様で、チームのリーダーとして各専門診療科や各専門職種の特徴を熟知し適材適所で介入をしてもらうマネジメントを行います。それによってどんな重症患者でもしっかりと改善し、家に帰れるようにすることを目標としています。



## ●コロナパンデミックの中で

当院はこの10年、重症呼吸不全や重症心疾患、重症感染症に力を入れて活動を行って来ました。これらを学びたい若手医師は県内だけでなく全国から集まり当院の集中治療研修を受けています。災害ともいえるべきコロナパンデミックで有名になった「ECMO」や人工呼吸管理は当院が得意とすることもあり、県内の人工呼吸管理を要する重症コロナ肺炎を100人以上受け入れ治療に当たることが出来ました。全国でもここまでの件数を診療に当たすることは珍しく、この知識と経験は学術集会等でも共有させていただきました。



## ●チームで患者さんと向き合う

当院の集中治療には多職種のチーム力が欠かせません。重症患者を病院間で搬送する専門チームを擁しており、また病棟では毎日の様に診療に携わる看護師や薬剤師、栄養士、理学療法士、言語聴覚士、臨床工学技士らで多職種チーム回診を行い、専門的介入をしています。



### TOPICS!!

#### 人工呼吸器をつけてリハビリテーション!?



重症な患者さんに対して、呼吸などのさまざまな臓器の機能を助けること、また廃用症候群（筋力低下や、関節が固くなる事）を予防する目的として、集中治療室でリハビリテーションを行っています。

患者さんの全身状態に応じながら、できるだけ早い段階からリハビリテーションを提供することにより、より短期間での日常生活動作の獲得・退院支援につながります。

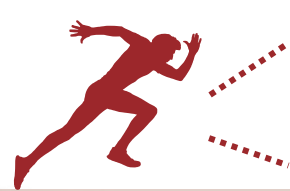
### Doctor's Voice

患者さんが重症な状態というのは家族にとっては非常に心配で、先が見えない不安感に覆われてしまう状況です。当院は集中治療チーム全体で家族に寄り添い、分かりやすく説明することを心がけ、家族に安心してもらうことも非常に重要と考えています。

救急集中治療部副部長 岩永航







一分一秒を争う救命救急  
その最前線で働くプロフェッショナル

# PROFESSIONAL VOICE

## Yoshiyuki Kubota



医師 窪田 圭志 (救急集中治療部医長)

### 常に冷静でいられるような雰囲気づくり

救急医療の現場では、自分達の判断や処置に患者さんの命が委ねられる場面が存在します。チームとしてそのような場面を乗り越えるために、罵声が飛び交う殺伐とした現場ではなく、常に冷静でいられるよう意識して場の雰囲気づくりをしています。

### 地域と病院をつなぐ救命救急センター

救急受診される患者さん、消防機関の皆さまにとっては、救命救急センターが病院の顔と言っても過言ではありません。地域と病院をつなぐ入口のようなものだと考えており、コミュニケーションの重要性を日々感じております。



### それぞれの「想い」を尊重する

医療の中心にある患者さんご家族の想いを尊重すること。コロナ禍で患者さんご家族、私たち医療者のコミュニケーションが随分と制限されてしまったなと感じています。医療に正解はなく、共に悩みな がらより良い方向を探す努力を大切に働いています。



### 多様なサポートにつなぐ役割

当救命救急センターは、受診される患者さんに急性期の治療を行うだけでなく、その後を見据えて地域のかかりつけの先生や看護師、各療法士、栄養士、薬剤師といった多様なサポートにつなぐ役割を担っています。多職種との密な連携は、地域を支える当院の強みであると感じます。

## Saki Morikawa



医師 森川 咲 (救急集中治療部)

## Yoshiyuki Higa



救急看護認定看護師 比嘉 祥之 (救命救急師長)

### 超急性期の中でのベストとは

救命救急センターを受診する患者さんは、重症の患者さんも少なくありません。患者さんの生命的予後だけでなく機能的予後も意識し、受診時から患者さんの社会復帰を見据え超急性期の段階で自分たちが何をすることがベストなのか考えるようにしています。

### コロナで多くの方に支えられて

新型コロナウイルス感染症の受け入れを行っている中で、入院された患者さんだけではなく、県内・外、多くの皆さまからお礼の言葉や励ましの言葉を頂きました。皆さまの言葉が職員の活力となり、当救命救急センターを初め、当法人が地域の皆さまに支えられていると実感しています。



### チーム医療の先にある患者さんの笑顔

治療を受けられる患者さん・そのご家族に、最大限寄り添った治療・看護が提供できるように、チームでそれに向かい合い、チーム医療が患者さんのために促進できるように意識しています。その先の患者さん・ご家族の笑顔を想像しながら…。



### 看護としてバトンをつなぐ

ERから、病棟（一般病棟、HCU、ICU、救命病棟）へ丁寧なバトンを繋ぎながら、さまざまな職種のスタッフが一丸となり、連携を取りながら、患者さんの病態回復に向けて治療・看護を進めていきます。

## Maki Kojya



クリティカルケア認定看護師 古謝 真紀 (副看護部長)

## Ayako Namidome



フライトナース 波止 綾子 (救命救急)

### スムーズで的確な対応を行うこと

病院外の現場でも急病の患者さんへその場で可能な最善の医療が提供できるようスムーズで的確な対応を行うこと、不安を抱かれる患者さんへ短時間の関わりでも安心感を感じて頂けるよう誠意をもった対応を心掛けています。

### 一番つらい時を共に乗り越えたい

救急には予想外な急病で患者さん・ご家族が来院されます。救急の場の短い関わりの中で苦痛や不安が軽減できていると実感出来た時はうれしいです。患者さんにとって一番つらい時ですので少しでも支えになりたいと考えています。



### 患者さんの「心」に寄り添う医療を

救急の現場には、さまざまな状態の患者さまが搬送されています。患者さんや家族の動揺や不安の軽減に努めるように意識しています。また、他職種・他機関との連携が重要な業務に従事しているため協調性を大切に考えています。



### “顔の見える関係”の大切さ

医師、看護師、消防機関、他の医療機関などとコミュニケーションを取る機会が多くあり、顔の見える関係の重要性を感じます。院内外で良好な関係を構築しておくことで、より良い活動が出来ていると実感しています。

## Yuta Nakamura



救急救命士 中村 祐太 (災害救急情報管理室)

## TOPICS!!

### 数字でみる救命救急センター

2021年度



救急患者数

10,455件/年



救急搬送受け入れ数

3,932件/年



救急外来からの入院数

3,327件/年



ドクターヘリ搬送件数

304件/年



ドクターカー搬送件数

381件/年



医師数

25名

(院外研修中の専攻医含む)  
2022.7.1時点



New!!

# 腎・泌尿器外科 開設しました！

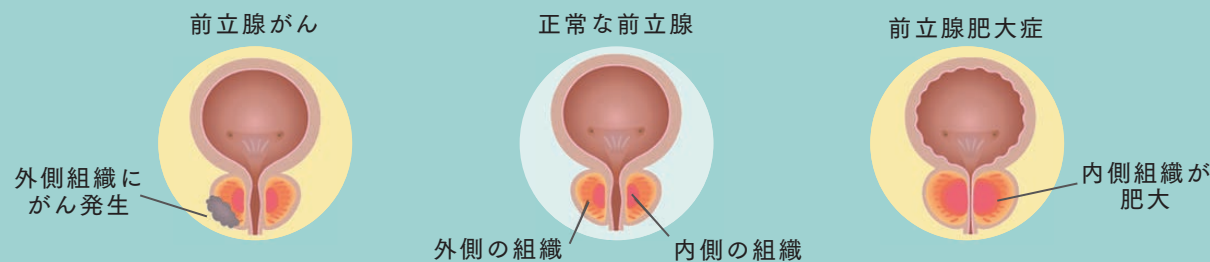


2022年4月より16年ぶりに診療を再開しました。2001年に琉球大学を卒業、10年間は琉球大学 泌尿器医局に所属し関連施設で経験を積みました。2011年からは他府県でロボット手術を中心とした内視鏡手術手技習得などのさらなる経験を積んでいます。2017年9月からは、沖縄県立中部病院で、泌尿器がん診療体制の構築、新規内視鏡、腹腔鏡手術の導入などを行いました。当院でも引き続き同様の診療を行う予定です。当科は、尿路とその周辺臓器の病気を扱っています。すなわち、腎臓・尿管・膀胱と男性特有の臓器である前立腺など多岐にわたります。当院の特色として、地域に根差した病院として存在するため、専門分野を絞らず泌尿器科疾患全般（がんも良性疾患も）診療しております。

## 部長 とよさと ともつね（豊里 友常）

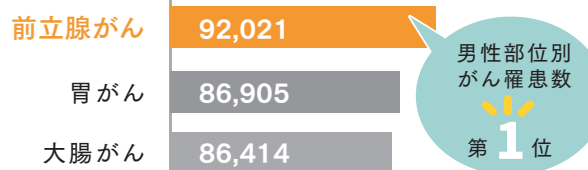
日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医・指導医  
日本泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医  
日本内視鏡外科学会 技術認定医（泌尿器腹腔鏡）  
daVinci S-Si 手術支援教育プログラム終了

## 前立腺の2大疾患



topic  
01

### 前立腺がん



※出典 がん情報サービス 2018 年

近年増加傾向にあり、ここ数年は男性のがん罹患数で1位となっています。増加の原因は高齢化や食事の欧米化など複数の要因があると考えられています。沖縄県は残念ながら転移や進行がんが後を絶たない状況が続いています。PSA検診普及率が悪いのが最大の理由だと思います。人間ドックやPSA検診などを受けていない方はかかりつけ医がいるのであればぜひ相談してみてください。採血でPSAという項目を測るだけです。

外来日：月曜終日、火曜終日（第1・3・5のみ）、水曜午後（月1～2回）、木曜午後、土曜午前（月1～2回）  
※水・土曜の外来日は毎月変更となっておりますのでホームページをご確認ください。  
※受診については完全予約制となります。



topic  
02

### 前立腺肥大症

#### 原因・症状

前立腺は男性特有の臓器で前立腺組織の増大、容積の増大は加齢に伴う変化です。良性の腫瘍で、50歳以上の男性から発症し60歳以上で約70％に存在します。

頻尿…トイレが近くなる。  
夜間頻尿…とくに夜、何度もトイレに起きる。  
排尿遅延…おしっこが出が悪い。時間がかかる。  
残尿感…終わっても、まだ残っている感じがする。  
尿勢の低下…尿管が細くちょろちょろと勢いが弱い。

#### 治療

当院の前立腺肥大症の治療として、薬物療法や手術療法があります。薬物療法で排尿状態が改善されない場合や、50mlを超えるような大きな肥大症を認めた場合は、ホルミウムレーザーという機器を用いて、肥大症の原因となっている内腺部分をくり抜く手術を行っています。

がん医療推進委員会だより .....

## 『患者サポートシート・ACPシート』

(アドバンスケアプランニング)

当院では、患者さまに“安心と満足の得られるがん医療”を提供する事を目的として、がん医療推進委員会を中心にさまざまな活動を行っています。今回私たちは、がんと診断された患者さまからより深く情報を収集して、関わるすべてのスタッフが患者さまの想いを共有し、外来～入院～在宅療養を通して、その想いを日々のケアに生かしていくためのツールとして『患者サポートシート』と『ACPシート』を作成しました。

『患者サポートシート』は、がんの診断・告知を受けた最初の段階で、病気や治療方針についての理解促進、就労や経済面などの気がかりや困り事などを確認させていただく目的で活用されます。診断を受けてから安心して治療に臨んでいただけるよう、解決に向けて専門スタッフでサポートしてまいります。

『ACPシート』に関しましては、ご病気を告知された患者さまの望む治療、看護を一緒に考えて

寄り添うことができるよう、患者さまやご家族の声をシートに残し、医療チーム（医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、社会福祉士、事務）で共有して繰り返し話し合い、解決・緩和に努めていきます。治療経過の中で、状態の変化に合わせて、お気持ちをお伺いしながらこれからのことを一緒に考えていきます。病気の説明を受けたときに起こる心理反応（不安や恐怖）を受け止め、チームでサポートしていきます。

『患者サポートシート』『ACPシート』の使用についてのご相談、疑問点などがあればスタッフにお気軽に声をかけて頂ければと思います。宜しくお願い致します。

※ACP〔アドバンスケアプランニング〕：「人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族や医療ケアチームと事前に繰り返し話し合う過程」

一般外来師長 喜納 薫

治療と生活の両立のために・・・

治療を受けていく段階で、気になる事や心配事、今の思いを書いてみませんか

●治療を受けるにあたって気になることを教えてください。  
あてはまる項目すべてに印をつけて下さい。

□病気の事をもっと詳しく知りたい □薬物治療（抗がん剤等） □痛みなどの治療  
□これからの治療のこと⇒□手術 □手術後の生活 □生活のこと □その他  
□子供や家族への病気の心配 □生活のこと □その他  
自由記載

●これから治療していく中で、周囲に相談できる人はいますか？  
（□いる □いない）  
いると答えた方へ ⇒ □家族 □友人・知人・パートナー □その他

●現在仕事はしていますか？ （□している □していない □退職を予定している）  
していると答えた方へ ⇒ □職場の雰囲気 □職場の仕事 □職場の収入 □職場の生活 □その他  
⇒病気の治療に職場の収入が支障を及ぼしていますか？ （□ある □ない）  
※治療と仕事の両立のための相談窓口があります。

●経済的な不安がありますか？ （□ある □今は大丈夫だが、今後は不安 □なし）  
あると答えた方へ ⇒ □治療費がいくらかかるか □収入 □支出 □その他  
□支払いが困難な場合は相談窓口を知りたい ※診療費相談窓口があります。

●主治医へ自分の気持ちを伝える事ができていますか？  
チェックをつけてもあなたが不利になるようなことはありません。

□できている  
□どちらかといえば出来ている  
□どちらかといえば出来ていない  
□できていない  
□どちらでもない

患者サポートシート

アドバンス・ケア・プランニングシート

もしもの時のために、  
あなたに必要な治療やサポートに対するお考えやどう暮らしていきたいかなど、  
家族と話し合って思いを書いてみましょう。話し合いが難しい場合は、  
ご自身の意見だけでもかまいません。

あなたにとって、つらくならないような内容が書かれているかもしれません。  
つらくならない場合は、一旦書くのをやめてもかまいません。  
すべての回答を埋めるのが難しい場合は空欄のままでも構いません。  
時間がゆっくりある時に記入下さい。

今後の健康状態や環境の変化、気持ちの変化によって何度も書き直す事が出来ます。

～体調について～

●気になる症状がありますか？  
□食事や睡眠がとれない  
□痛みがある  
□その他

～日常について～

●あなたにとって大切にしたい事はなんですか？  
□家族や家族との時間を大切にしたい  
□自分の事はできるだけ自分でしたい  
□趣味を大切にしたい  
□仕事や社会的な役割を続けたい  
□先々のいろいろな事（病気に備えること）を知り、自分で決めていきたい  
□その他（下へ自由記載）

アドバンスプランニングシート(ACPシート)



## 地域の医療機関との『連携』のご紹介

医院・病院の先生方や診療所・クリニックを開業された先生方を連携医療機関として紹介させて頂いております。

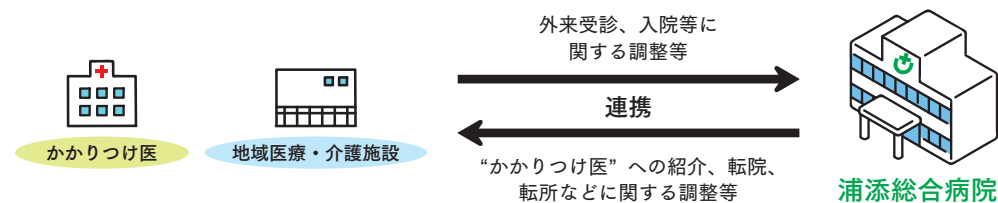
患者さまが、当病院で入院・治療・特殊な検査を必要とする時、連携医療機関の先生と当病院の医師が、密に連携を図り継続した医療を提供しています。

お問い合わせ窓口

医療相談・医療連携支援室 **かけはし**

TEL 098-879-0630

地域医療連携（各施設がそれぞれの特性を生かし、地域全体で患者さまの健康を守るシステム）



## 浦添総合病院の連携医療機関のご紹介

### 幸喜内科 糖尿病・甲状腺クリニック



TEL:098-878-8822 FAX:098-877-8866

〒901-2102 浦添市前田2丁目1517番

《診療科目》 内科

| 受付時間             | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前の部 8:30~12:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | / |
| 午後の部 13:30~17:00 | ○ | ○ | / | ○ | ○ | / | / |

●休診日：木・土の午後、日曜、祝日

2022年6月15日に開院いたしました。糖尿病を含む生活習慣病の合併症予防・発症予防を目指した診療をしています。甲状腺疾患を含むホルモン異常は、複雑な分野ですので丁寧な診療を心がけています。安心を持ち帰っていただけるようスタッフ一同でお待ちしております。

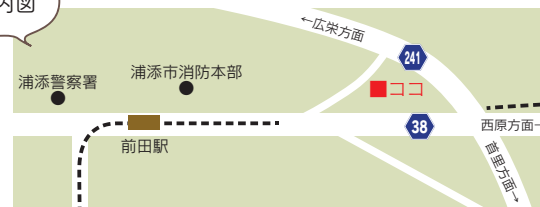


院長 幸喜 毅先生

外観



案内図



### げんか耳鼻科咽喉科



TEL:098-876-9500 FAX:098-876-9521

〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖2-3-1 2階

《診療科目》 耳鼻咽喉科

| 受付時間             | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前の部 7:00~10:30  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | / |
| 午後の部 12:30~15:30 | ○ | ○ | / | ○ | ○ | / | / |

●休診日：木・土の午後、日曜、祝日

平成2年に開院した浦添市伊祖にある耳鼻咽喉科のクリニックです。32年間診療を行ってきた源河朝博先生に代わって2代目院長を務めさせていただくことになりました。地域の皆様から信頼されるクリニックを目指してまいります。みみ・はな・のどでお困りの方はお気軽にご相談ください。

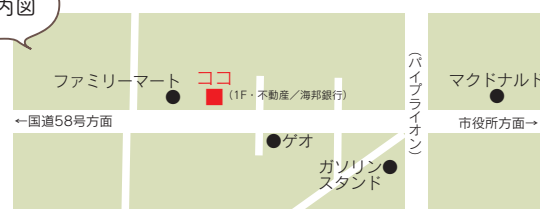


院長 又吉 宣先生

外観



案内図



## 浦添総合病院

## 外来診療案内

|    | 受付時間          | 診療時間          |
|----|---------------|---------------|
| 午前 | 8:00 ~ 11:00  | 9:00 ~ 12:30  |
| 午後 | 12:00 ~ 16:00 | 14:00 ~ 17:00 |

※土曜午後・日曜・祝日は休診となっております

外来診療表は  
こちらからご覧ください



救急外来は **24時間365日** いつでも診療しています

紹介状を持参しないで受診される患者さまに対しては、「初診時選定療養費」として5,500円を徴収させていただいております。  
また、他の医療機関へのご紹介を申し出た後も、当病院での診療を希望し受診される患者さまに対しては、「再診時選定療養費」として2,750円を徴収させていただいております。



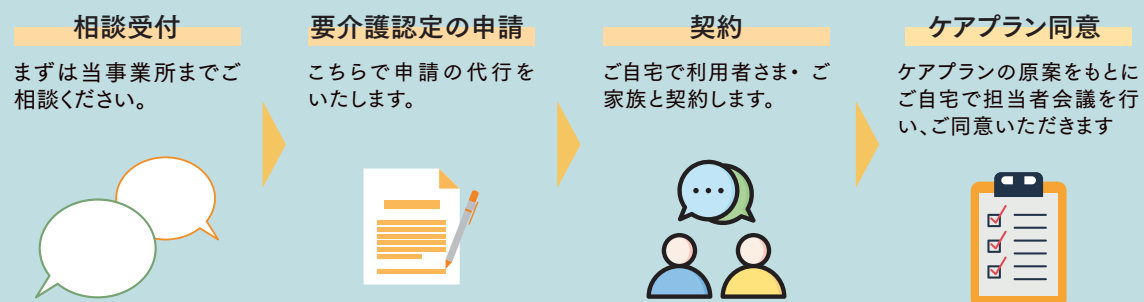
## 在宅総合センター

## ことぶき指定居宅介護支援事業所



介護福祉士、看護師、社会福祉士の資格をもった経験豊富なケアマネジャーが介護保険に関しての相談や必要な福祉サービス、医療サービスなどを総合的に受けられるように支援します。  
また、ターミナルケアも迅速に対応いたしますので、ご相談ください。

### 介護サービス利用開始までの流れ



私たちがケアマネジャーです♪



これから  
と  
ぶ  
き  
の  
こ  
と  
を  
も  
に  
考  
え  
ら  
せ  
る  
よ  
う  
に  
相  
談  
し  
て  
ね



【お問い合わせ先】

ことぶき指定居宅介護支援事業所

TEL:098-875-4165

住所：浦添市伊祖四丁目21-11 ストックキャッスル浦添M3



## 浦添総合病院

〒901-2132 浦添市伊祖四丁目16番1号

TEL:0120-979-706 (予約センター)

TEL:098-878-0231 (代表)

●つるかめ訪問看護ステーション

TEL:098-877-0645



## 浦添総合病院健診センター

〒901-2132 浦添市伊祖三丁目42番15号

TEL:0570-010-986



## 在宅総合センター

〒901-2132 浦添市伊祖四丁目16番1号

TEL:098-879-1000 (代表)

●介護老人保健施設アルカディア

●訪問リハビリテーションアルカディア

TEL:098-879-1000

(上記2事業所共通)

●アルカディア通所リハビリテーション

TEL:098-878-1675

●ヘルパーステーションらくだ

TEL:098-870-1026

●浦添市地域包括支援センターみなとん

TEL:098-876-3710

●浦添市地域包括支援センターさっとん

TEL:098-877-3103

●ことぶき指定居宅介護支援事業所

TEL:098-875-4165

●浦添市事業所内保育事業認可保育園 もこもこ保育園 TEL:098-878-7171

●内閣府所管企業主導型保育事業 にこにこ保育園 TEL:098-878-5223

## 仁愛会の理念

- 地域住民のニーズを満たす保健・医療・福祉
- 働き甲斐のある職場

- 信頼と人間性豊かな保健・医療・福祉
- 仁愛会の職員であることが誇れる企業